

「だいじょうぶだよ」と絵本がいった



びん

企画・主演：大地康雄

佐藤日作 中井貴恵 村田雄浩
 小宮孝泰 中田喜子
 小松美咲 井上正大 絵沢萌子
 若村麻由美 板尾創路 手塚理美

監督：山田大樹

脚本：坂上かつえ
 絵本原案：柳川野色
 絵本挿絵：藤子・おべおん
 エグゼクティブプロデューサー：野村浩一
 プロデューサー：中山真一
 フォトリポートプロデューサー：伊藤貴
 制作プロデューサー：高村謙二 野村浩一 高橋保典
 ライトプロデューサー：松口健一郎
 ポストプロダクションプロデューサー：藤田孝
 製作：『びん』製作委員会
 監修：『びん』監修委員会
 制作：株式会社プライム
 制作協力：株式会社ハイライン
 ©2012「びん」製作委員会





泣いても笑ってもめでたしめでたし

story

絵本の里がつなぐのは、
心やさしい人びとの無償の愛。
大地に染みわたる親子の絆。

宮城県・松島に住む大道芸人の銀三郎(56)は、気ままな独り身で芸人仲間から愛されるお調子者だ。決まり事といえば、北海道で幼なじみが営む農場を手伝うことのみ。会社員だったときに別れた妻と娘にもそれっきり会っていない。そんなある年、農場に行くと都会から農業研修で来ていた女子高生たちと一緒にいる。いがみ合いながらも距離を縮める銀三郎と女子高生たちだったが、ただひとりの少女だけは心を開かない。やがて農業研修は終わりに近づき、彼女はそっと打ち明けるのだった…。

Introduction

ひとりの俳優が絵本の里で見た
子どもたちの明るい未来を映画に託し、
すべての親と子に贈る。

すべては2007年、俳優の大地康雄が訪れた北海道の小さな町。剣淵町から始まった。そこでは、約20年前から「絵本を真ん中に、人と人の心が通う「絵本の里づくり」を掲げ、町民は仕事の合間をぬって子どもたちに絵本を読み聞かせ、豊かな心を育てていた。その想いは町のすみずみまで届き、人々が助けあうまでに成長。大地が見たのは絵本に目を輝かせる子どもたちであり、親と子の明るい未来だった。そして、ひとりの俳優は「絵本の力」と「親子の絆」を描いた映画づくりを始める。その想いに共感する人々が集まって誕生したこの映画から、あたたかな感動とやさしい気持ち「じんじん」と広がっていく。

www.jinjin-movie.com



「じんじん」制作委員会 プリズム/ハイライン/オーション/ド・プレス/フェザンレーヴ/カナモト/カナモトキャピタル/シネマとろほく/北日本ジャーシー・エム/札幌映画サークル/花本建設/東日本放送/五三永光水産/グループ未来/プロス・カンパニー/ロボット/秋田県映画センター/群馬共同映画社/九州共同映画社/映画「じんじん」全国配給委員会/熊本映画センター/シネマ・キャラバンV.A.G/ワンダリウムピクチャーズ/ビーエル ©2013「じんじん」制作委員会/2013年/日本/カラー/ビスタビジョン/ステレオ/129分

映画「じんじん」土佐清水市上映会

平成 28年 11月1日(火)
土佐清水市立市民文化会館
主催：土佐清水市

- ①午後1時20分～3時29分
- ②午後6時30分～8時39分 (129分作品)

入場無料

【お問い合わせ】
土佐清水市じんけん課 0880-82-1124

※聴覚障害者用日本語字幕付上映です。